

ばかになっちゃうからさー

これ以上抱えな〜

ハズレ★おれこっJKペ〜ん
綾音と優菜

ニ学校で性善！〜

1

あつませてるー
わたくし、愛撫なんかじゃ
あつませてるー

恥ずかしがりや
見ちゃだめさー

ハメ得★おいこっJKペッ
綾音の優菜

ニ学校で性善！

2

なんでこんな風に持ってるの？

いやらしい女の子に
されちゃったんだ！

ハズレ★おいこっJKベッ

綾音と優菜

ニ学校で性番！

3

爆乳優等生が...



「はあっ……♡んぶ、れるるっ♡私……今、どっても
えっちなことしてるっ♡はあっ♡あめ、んちゅっ♡
でも、止められない……♡くちゅちゅっ♡」

「はあっ♡ちゅ♡ん♡ん♡んむっ♡ちゅぶ……く
ちゅ、ちゅぶっ♡はあ……ぴちゅ、ちゅるるっ♡
ぬちゅ、ちゅぶぢゅるるるっ♡ん♡えっちな味い♡」

「んぢゅっっ♡はあ、ああ、いっ、いやらしいっ♡
いやらしい味いっ♡ちゅぶっ、ちゅぶれろ、
えろれろおっ……♡」



んぐああひゃあああああ♡♡♡

「あ、あ、あああ♡ だいだい！ い、いだいのにっ！ おっぱい……出てるっ♡」

「お、おまんこ犯されながら♡ 私♡

おっぱい噴き出して気持ちよくなっちゃってっ♡」



「て、手に、チンポのカタチ感じろっ ♥ チンポ竿ごっ
ごっしててえ ♥ チンポ血管びくびくしててえ ♥ す、
すぐ、エロい形してるよおっ♥」

「はあああっ ♥ い、いやらしい、先走りのお汁が出て
来ちゃってるっあ、ああ、わ、私の手にい、先
走り汁の味と匂いが染みついちやうよお♥」

「す、すぐっ、変な匂いなのにつ♥ こ、これ、
嗅いでると、ち、チンポのことしか考えられなくなっ
ちやうっ ♥ ち、チンポ、チンポおお♥」





「ううぐあああぐひゃあああつ ♥ お、おまんこ殴られてるっ ♥ そ、そんなにいじめちゃだめですうっ ♥ おおおんっ ♥ おまんこおっ おおおおおっ ♥ ♥ ♥」

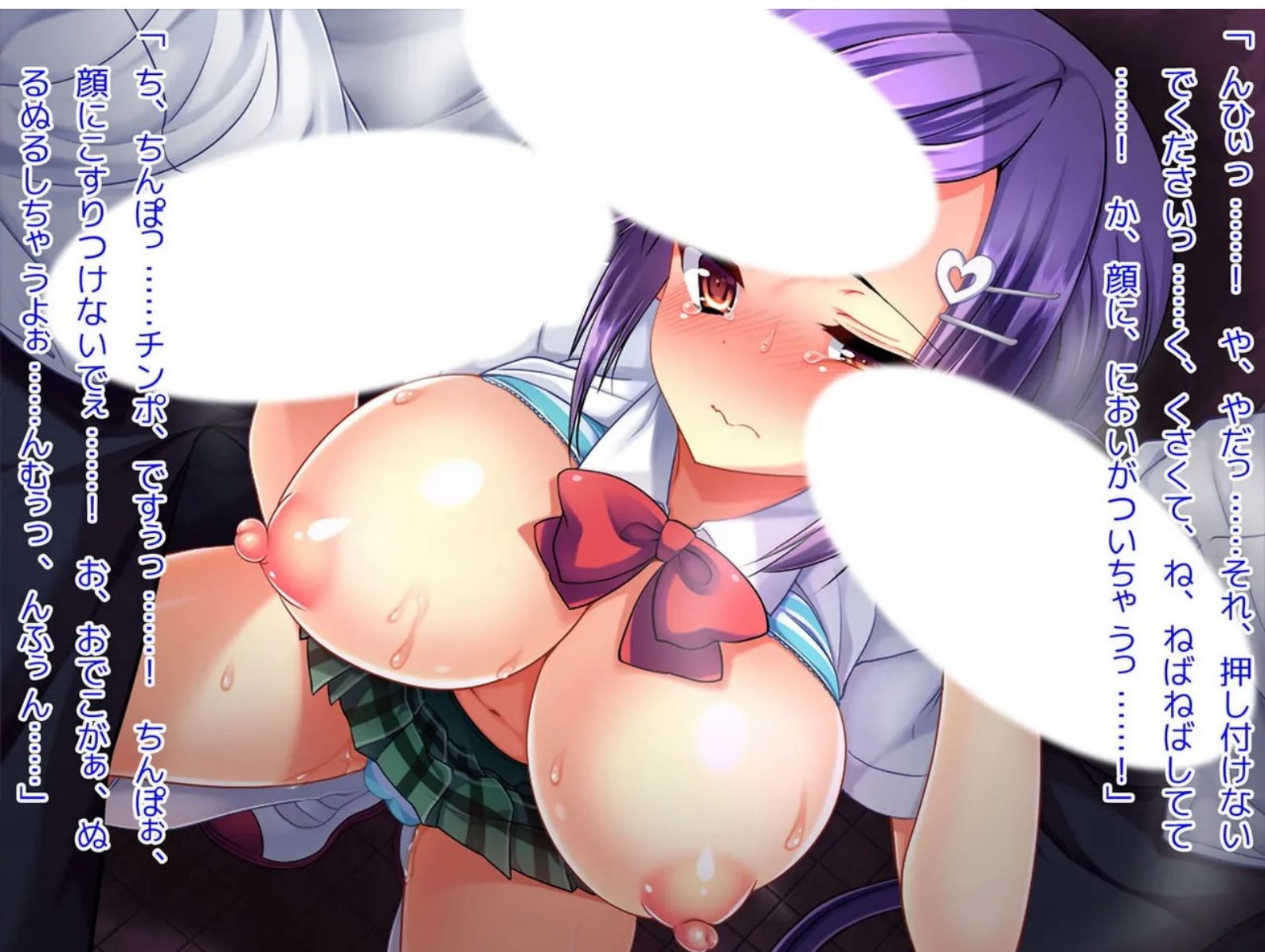
「くひいいんっ ♥ あ、あつはっ 恥ずかしいっ ♥ み、見ないでえっ ♥ おお、お尻の穴あつ ♥ 肛門みられるの恥ずかしいのおおっ ♥ いやあああんっ！」

「あああああんっ、あひゃあつ、んひいいい ♥ ♥」



「んひっ……や、やだっ……それ、押し付けないでください……くさくて、ね、ねばねばして……か、顔に、おいがついちゃう……」

「ち、ちんぽっ……チンポ、ぽすっ……ちんぽ、顔にすりつけないで……お、おでこが、ぬるぬるっちゃうよ……んむっ、んむっ……」



「んんぐうあああああああつ！ ち、違うよあつ！
ケツセックス嫌いつ！ チンポなんか大嫌いつ！

チンポきらいい♥きらいい♥♥早く終わらせろ♥」

「ち、違うもんっ♥だめ、ダメダメ……優菜、そんな

にいやらしい子じゃないっ♥やだ、やだ、やだあ……

チンポ嫌いつ♥ち、チンポっ♥もう抜いてええっ♥」





「せんぷあい……気持ちいいんねか……んむん
ちゅっ……ちゅく……気持ちいいんね……ん」

「みゅひあああああっ♡ やつやあつい気持ちいい♡
ぎもちーのお♡ ボツキ乳首ちゅっちゅされてえ♡
先っぽからやらしいミルクぴゅっぴゅしちゃうよあっ♡」

「ふふ♡ えうちな声。先輩も、そんなかわいい声出す
んですね。もっと……もっと聞きたくなっちゃう……
んっ、んちゅっ……ちゅく……んっ♡」



「んぐぬっほおほおおっ♥ おひろおおっやっやっやっ
ですっ♥ そ、そっけんの勢っ♥ ぐろぐろっ♥
ケツアケメがきちゃっ♥ イへっ♥」

「あ~~~~~っ！ そっそっおっそっそっ
そっおおっ♥ そっそっイへっっっっ♥ イへっっ、
いっっいっぢゃいませっっっっ♥」

「なんでこんなにお尻の穴の奥がきもちいいのっ!? あっ
イクっ♥ 恥ずかしいのにイクっ♥ イヤなのだよまま
くっちゃっ♥ うっあああああっっっっっ♥」



「はぁ♥ あぁ♥ んんっ♥ ぐりゅんぐりゅんケツ穴
広がってるっ♥ ドパドパガマン汁でぬるぬるのケツ
まんこに本番ザーメン注入されちゃいますっ♥」

「早くっ♥ 早くっ♥ 便器穴にザーメン捨ててっ♥
お肌どろどろにしてっ♥ ケツマンコたぶたぶにしてっ♥
熱くて臭くてどろどろのザーメン発射してえっ♥」

